

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義
科目名	女性の健康増進への看護		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対象学年	2学年		学期及び曜時限	後期	教室名	2年生教室
担当教員	山本 亮子・岡野眞規代	実務経験と その関連資格	岡野:公立病院に14年間勤務、民間病院の婦長を歴任。東京にて助産婦教育に携わる。その後吉村医院の「お産の家」開院と同時に婦長として勤務。自然なお産に立ち会い、全国各地で講演を行う。現在は女性と子どものためのサポートセンターを立ち上げ活躍中。			
《授業科目における学習内容》 女性のライフサイクルに焦点をあて、女性を取り巻く環境と対象の身体機能の変化や心理・社会的特性を理解する。思春期では性感染症・月経不順・人工妊娠中絶・DV、成熟期では子宮内膜症・不妊症・乳腺疾患・子宮頸がん、更年期では更年期症状・子宮筋腫・子宮体がん・乳がん・骨粗しょう症、老年期では子宮脱・子宮下垂・膣炎などがある。これらの定期健康診査の必要性や精神面の悩み相談などについて学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》 保条・山本:平常点(授業態度) 20%、筆記試験 70% 岡野:レポート提出 10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》 ナーシング・グラフィカ 母性看護学① 概論・リプロダクティブヘルスと看護、中込さと子・小林康江・荒木奈緒編、株式会社メディカ出版 参考図書:ナーシング・グラフィカ 母性看護学② 母性看護の実践、小林康江・中込さと子・荒木奈緒編、株式会社メディカ						
《授業外における学習方法》 授業前には教科書を読んで予習をすること。授業後には復習を怠らないこと。また講義に関連する報道・記事などに関心を持ち発展的理解に努めること。						
《履修に当たっての留意点》 ①授業中の私語は慎んで下さい。授業妨害と判断した場合には退室を命じます。②グループワークでは活発に意見を交わり、積極的に授業に参加して下さい。③講義は眠たくならないように発問をします。問い掛けには答える努力をし、具合の悪い人は教室ではなく保健室で寝て下さい。④実習室ではふざけず真剣に取り組み、時間内に終わるよう準備や片付けも協力して下さい。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	生殖に関する生理を理解することができる P.98-107		ナーシング・グラフィカ 母性看護学①概論・リプロダクティブヘルスと看護メディカ出版	プレテスト ポストテスト	
	各コマにおける授業予定	概論で履修した 生殖器の解剖・機能、女性の第二次性徴、女性の性周期について理解を深める。				
第2回	授業を通じての到達目標	生殖に関する生理を理解することができる P.107-118		ナーシング・グラフィカ 母性看護学①概論・リプロダクティブヘルスと看護メディカ出版	プレテスト ポストテスト	
	各コマにおける授業予定	概論で履修した 妊娠のメカニズム、性行動・性反応について理解を深める。				
第3回	授業を通じての到達目標	生殖における健康問題と看護 P.120-126		ナーシング・グラフィカ 母性看護学①概論・リプロダクティブヘルスと看護メディカ出版	プレテスト ポストテスト	
	各コマにおける授業予定	概論で履修した 妊娠できる身体になることと避妊の重要性について 月経の異常症状を理解し、セルフケアの必要性を理解を深める				
第4回	授業を通じての到達目標	生殖における健康問題と看護 P.126-132		ナーシング・グラフィカ 母性看護学①概論・リプロダクティブヘルスと看護メディカ出版	プレテスト ポストテスト	
	各コマにおける授業予定	避妊法とそれぞれの特徴について、性感染症とその影響について理解する				
第5回	授業を通じての到達目標	生殖における健康問題と看護 P.133-148		ナーシング・グラフィカ 母性看護学①概論・リプロダクティブヘルスと看護メディカ出版	プレテスト ポストテスト	
	各コマにおける授業予定	女性生殖器の良性・悪性疾患と、予防や早期発見のためのセルフケアについて理解する				

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標 不妊症について理解できる P.150-166	ナーシング・グラフィカ 母性看護学①概論・リプロダクティブヘルスと看護メディカ出版	【関連動画】 ・P.153不妊治療のプロセス ・P.160不妊治療における看護者の役割を事前に観て来ること
		各コマにおける授業予定 妊孕性に関わる不妊という健康問題の特徴、不妊カップルの心理・社会的反応、不妊治療を受けているカップルの自己決定を支える看護について理解する		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標 加齢とホルモンの変化 P.168-182	ナーシング・グラフィカ 母性看護学①概論・リプロダクティブヘルスと看護メディカ出版	プレテスト ポストテスト
		各コマにおける授業予定 ・更年期にある女性の心理的、社会的、身体的特性、健康問題について理解する。 ・老年期にある女性の特性、健康問題について理解する		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標 中絶のリスクや必要性と、生命倫理について考えられる	ナーシング・グラフィカ 母性看護学①概論・リプロダクティブヘルスと看護メディカ出版	プレテスト ポストテスト
		各コマにおける授業予定 思春期の健康課題③ ・人工妊娠中絶と倫理		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標 特殊なニーズをもつ妊産婦と家族への支援 P.326-333	ナーシング・グラフィカ 母性看護学①概論・リプロダクティブヘルスと看護メディカ出版	
		各コマにおける授業予定 ・特定妊婦の妊娠・出産・育児における問題を理解する。 ・特定妊婦と生まれた子への支援について理解する。		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標 特殊なニーズをもつ妊産婦と家族への支援 P.333-337	ナーシング・グラフィカ 母性看護学①概論・リプロダクティブヘルスと看護メディカ出版	プレテスト ポストテスト
		各コマにおける授業予定 ・不妊治療後の妊娠に伴う問題について理解する。 ・不妊治療後に妊娠した妊産婦の心理と、その支援について理解する。		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標 特殊なニーズをもつ妊産婦と家族への支援 P.337-340	ナーシング・グラフィカ 母性看護学①概論・リプロダクティブヘルスと看護メディカ出版	事前学習シートへの記入 ポストテスト
		各コマにおける授業予定 ・外国人妊産婦が抱える問題について述べるができる。 ・外国人妊産婦と家族への支援について述べるができる。		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標 特殊なニーズをもつ妊産婦と家族への支援 P.326-340	ナーシング・グラフィカ 母性看護学①概論・リプロダクティブヘルスと看護メディカ出版	事前学習シートへの記入 ポストテスト
		各コマにおける授業予定 ・災害時の妊産婦に対する配慮やケアについて述べるができる。		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標 成熟期女性の健康課題(周産期) メディアセンター		事前学習シートへの記入
		各コマにおける授業予定 健康の原点は妊娠・出産・母乳育児をしているときに免疫力をつける ということを理解できる。		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標 国際化社会と看護(日本の文化) メディアセンター		聴講後のレポート作成・提出
		各コマにおける授業予定 お産のあり方、いのちの神秘、環境の重要性、多様ないのちを受け入れることを理解する。		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標 まとめ	ナーシング・グラフィカ 母性看護学①概論・リプロダクティブヘルスと看護メディカ出版	事前学習シートへの記入 ポストテスト
		各コマにおける授業予定 女性の健康増進への看護まとめ・総復習		